



OZEKI



株式会社 尾関
会社案内

Company Profile

まっすぐに、柔軟に。

1903年創業・株式会社尾関は、化学品と電子部品の専門商社として、次の100年も、時代のニーズにあった商品をお届けし続けます。

社長あいさつ

創業100年を超えて

弊社の創業は1903年(明治36年)。台東区駒形にて染料和漢薬問屋を開業したことから、その歴史が始まりました。以来、明治、大正、昭和、平成、令和と5つの時代を経て創業100年を超え、時代の変化に対応しながら、化学品と電子部品の専門商社として会社を継続してまいりました。長きにわたる弊社の歴史を支えていただいたお客さまには、深く感謝申し上げます。

100余年の歩みのなかには、歴史的な出来事はもちろんのこと、新たな材料の登場や産業・景気の移り変わりなど、さまざまな変化がありました。時代の波にもまれながらも、このように事業を継続してこられたのは、本業を大切にしながら、時代に合わせて変化する柔軟な姿勢を持ち続けてきたからこそと自負しております。

また、サプライヤーとの出会いにも恵まれました。単に商品を流通させるだけでなく、サプライヤーとともに商品の開発や拡販に取り組み、新たな市場を創造してきたことは、現在の弊社を形作る大きな礎となっています。近年では財務基盤の安定に注力しながらも、サプライヤーとの協業により住宅資材の新たな工法普及でのマーケット拡大や、回路設計のみならず機構設計へもアプローチすべく、金属切削加工部品の取扱を開始するなど、今もなお挑戦を続けています。

次の100年に向けて。変えてはいけないもの、変えなければいけないもの

時代に合わせて変化する柔軟な姿勢を持つ一方で、変わらず大切にしていることがあります。

それは、社員一人ひとりが、お客さまの声なき声に耳をかたむけ、お客さまに選ばれるパートナーとして、信頼に応え続けることです。卸売りの事業は、お客さま・サプライヤーあってこそそのビジネスです。弊社は「社員重視の信頼経営」の信条のもと、社員一人ひとりがお客さまと全身全霊で向き合い、信頼を裏切らないことを信念としています。だからこそ、長くお客さまにご愛顧いただいているものと信じております。

このような姿勢は、未来へ向かって続く「次の100年」に向けても変わりません。

松尾芭蕉が説いた俳諧の理念に「不易流行(ふえきりゅうこう)」という言葉があります。解釈には諸説ありますが、「いつまでも変わらない『本質』を忘れないなかにも、新しく変化を取り入れていく」世界観を表しています。

この言葉のように、弊社は、守るべきものは守りながらも、時流に合った商品をお届けすることで、お客さまにこれからも貢献し続けてまいります。

まっすぐに、柔軟に、歩み続ける尾関の次の100年にどうぞご期待ください。



株式会社尾関 代表取締役社長 尾関 竜太郎

創業200年に向けて、尾関が大切にしている3つのビジョン

時代のニーズを読み取り、新たな商品や工法の普及に取り組みます。サプライヤーとのパートナーシップにより、付加価値が高く、特色のある商品をお届けします。

お客さまに安心してお取引いただけるように、また、社員が安心して力を発揮できるように、財務基盤の安定と健全経営に努めます。

経営理念である、お客さま・社員・社会との「絆」を大切にしています。社外・社内に関わらず、「信頼を裏切らない」経営を信条とします。



経営理念「絆」

顧客との絆

存在価値のある商社として、質の高い商品、サービスを提供し、化学業界、電子業界はもとより、広く産業の発展に寄与します。適性の価格を維持するため、常に売上原価、経費を引き下げる努力をします。

顧客の要望に応えるべく、新技術、新商品の開発研究を積極的に展開し、新たな市場を創り出します。

顧客からの注文には、迅速、正確に対応します。

社員との絆

社員一人一人を尊重し、安心して働くことができる環境作りをします。

社員の提案、発想が自由にできる職場を作ります。

能力のある人には、更なる能力開発、昇進の機会を与え、公正かつ適切な評価を行います。

社会との絆

社会の一員として、「環境との調和」、「環境への配慮」をモットーに、製品の企画、販売を通じて、会社・経済の発展に寄与します。

環境と資源の保護に努め、健全な地域環境の保全に貢献します。

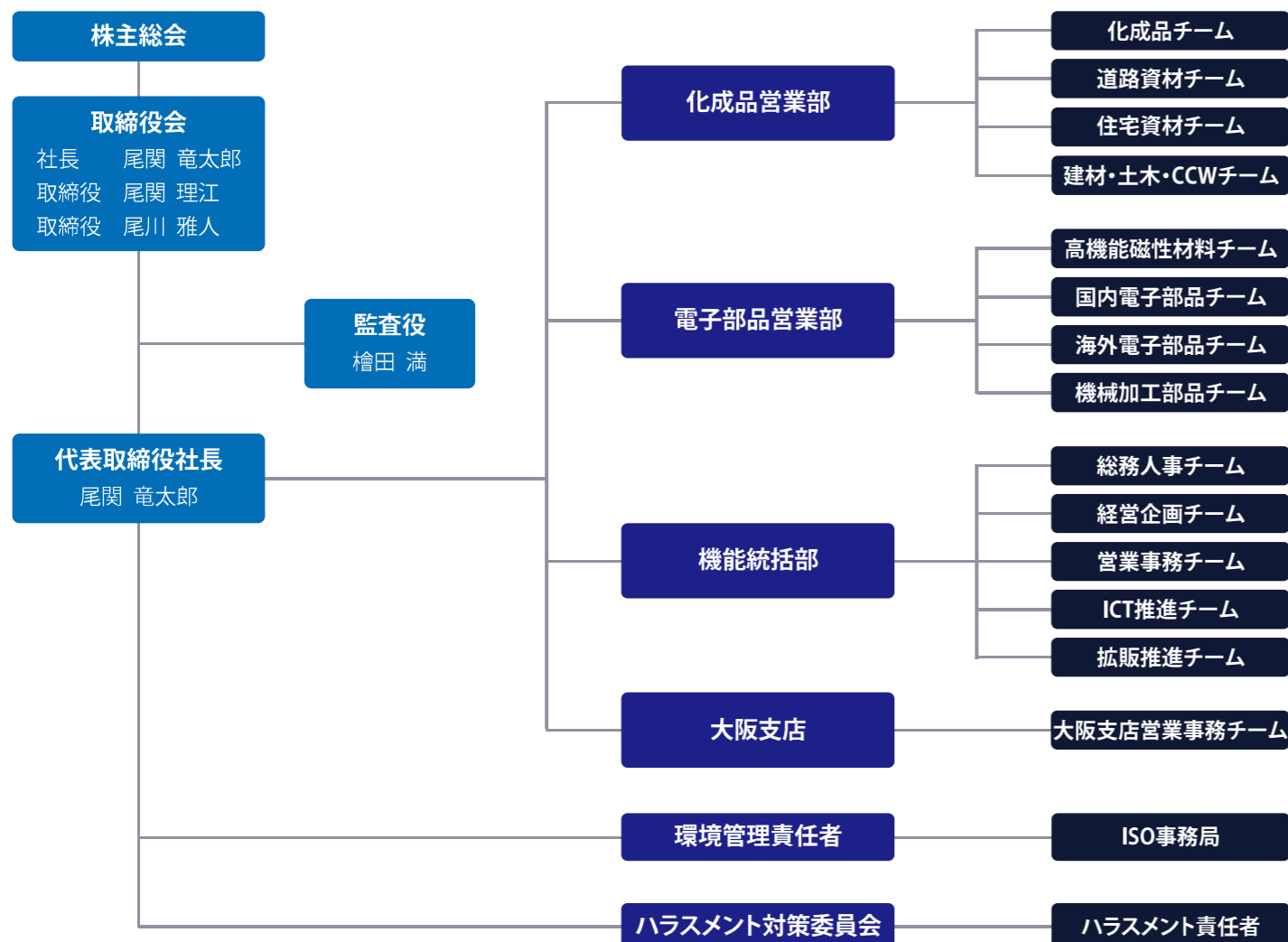
新たな考え、新しい市場開発に着手し、健全な利益を生み出す努力をします。

会社概要

商号 株式会社 尾関
 英文商号 Ozeki Co., Ltd.
 本社所在地 〒104-0041 東京都中央区新富1丁目14番1号
 いちご八丁堀ビル7F
 電話 03-3297-3241 (代表)
 FAX 03-3297-3220
 Webサイト <http://www.ozekinet.com>
 創業 明治36年11月2日
 会社設立 昭和23年12月21日
 資本金 8,800万円
 役員 代表取締役社長 尾関 竜太郎
 取締役 尾関 理江
 取締役 機能統括部長 尾川 雅人
 監査役 檜田 満
 執行役員 化成品営業部長 吉田 健一
 電子部品営業部長 菊地 克明

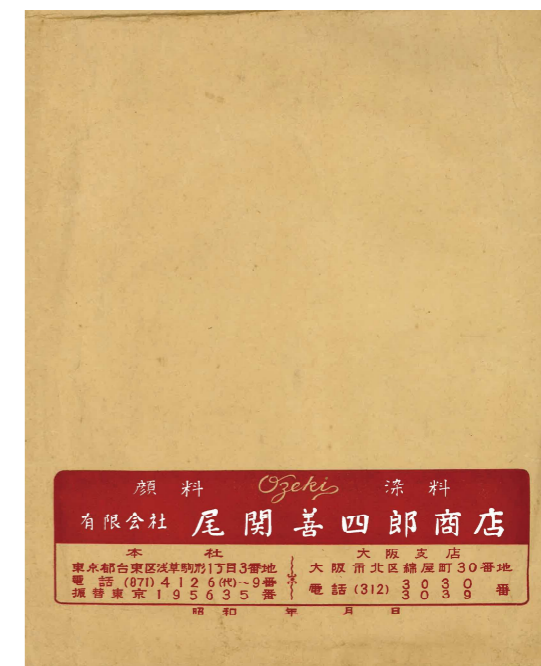
事業内容 1. 着色剤(顔料、染料)の販売
 2. 紫外線吸収剤、他添加剤の販売
 3. 建材、住宅関連商品の販売
 4. 電子部品・磁性材料の販売
 5. 機械加工部品の販売
 主要取引銀行 リソナ銀行/東京中央支店
 三菱UFJ銀行/新富町支店
 みずほ銀行/築地支店
 三井住友銀行/新橋支店
 商工組合中央金庫/東京支店

組織図



沿革

明治36年11月 尾関長次郎が台東区駒形にて、資本金140円の染料和漢薬問屋「尾関商店(屋号は丸深)」を創業
 昭和18年10月 先代死去により尾関善四郎が事業を引継ぐ
 昭和23年12月 資本金100万円の法人組織「有限会社尾関善四郎商店」を設立
 昭和34年3月 大阪支店を大阪市北区に開設
 昭和40年8月 法人の組織変更により、「株式会社尾関」に社名変更
 資本金を2,200万円に増資
 昭和44年8月 顔料の化工・配合のための専属工場として、茨城県稲敷郡に「有限会社筑波化工所」を設立
 資本金を5,500万円に増資
 昭和53年1月 尾関善四郎は会長に、尾関義隆が社長に就任
 昭和57年1月 尾関流通センターを東京都板橋区より埼玉県川口市に移転
 昭和58年11月 電子材料事業部(現:電子部品営業部)発足
 昭和58年12月 資本金を8,800万円に増資
 昭和63年7月 本社を中央区湊に移転
 昭和63年12月 大阪支店を大阪市中央区に移転
 平成元年4月 大阪府枚方市に「枚方流通センター」を開設
 平成元年12月 有限会社筑波化工所を「株式会社筑波テックス」に社名変更し、資本金2,000万円とする
 平成13年8月 「尾関(香港)有限公司」を設立
 平成14年4月 ISO14001(環境マネジメントシステム)に審査登録される
 登録番号JSAE514
 平成14年11月 尾関義隆は会長に、尾関竜太郎が社長に就任
 平成15年9月 景観事業部を分社化し、東海ゴム工業株式会社(現社名:住友理工株式会社)との共同出資(出資率35%)により「株式会社ビュープランニング(現社名:住理工商事株式会社)」を設立
 平成20年3月 蘇州翔安電子有限公司に投資
 平成21年3月 「尾関(香港)有限公司広州連絡事務所(現:深セン連絡事務所)」を開設
 平成21年9月 株式会社筑波テックス石川工場を閉鎖
 平成21年10月 事業開発部発足
 平成21年10月 電子材料事業部技術開発部(現:技術室)発足
 平成23年7月 「尾関(上海)貿易有限公司」を設立
 平成25年9月 事業開発部を改組
 平成26年8月 株式会社筑波テックスを会社清算
 平成26年9月 住友理工株式会社に株式会社ビュープランニングの株式を譲渡
 平成28年3月 蘇州翔安電子有限公司を会社清算
 平成28年12月 尾関(上海)貿易有限公司を閉鎖
 平成30年2月 本社を中央区新富に移転
 令和5年10月 関東経済産業局より「事業継続力強化計画」の認定を受ける



化成品営業部

化成品営業部は、塗料・インキ・建材・プラスチックなどの多分野におけるさまざまな色彩プランやニーズにマッチした無機顔料・有機顔料・染料・加工顔料などの各種色材とともに、紫外線吸収剤・酸化防止剤・各種添加剤などの高機能材を提供しています。委託加工先では、ヘンシェルミキサーやアトマイザー粉砕機などによる分散処理・粉砕加工も可能です。このほか、住宅基礎保護材や制震ダンパーなどの住宅資材も取り扱っています。

取扱製品・サービス



顔料・染料

塗料・インキ・建材・プラスチックなど多分野の製造メーカーからのさまざまな色彩プランやニーズにマッチした無機顔料・有機顔料・染料・加工顔料などの各種色材を提供しています。委託加工先ではヘンシェルミキサーやアトマイザー粉砕機などによる分散処理・粉砕加工を行うことが可能です。



住宅資材・道路資材

基礎コンクリートの中性化を抑制することで耐久性をあげる住宅基礎保護材「ハウスシューズ」、自動車用防振ゴムにおいて世界トップクラスのシェアを誇る防振ゴム技術を応用した木造住宅用制震システム「TRCダンパー」、自然景観との調和・都市景観の向上や色分けによる区分表示などに用いられる「カラー舗装着色顔料」などを提供しています。



機能性材料

紫外線による着色剤の退色や変色、ポリマーの白亜化やひび割れなどのダメージを防ぐために使用される紫外線吸収剤「Uvinul® (ユビナル)」などを紹介しています。ポリマーを保護し、ツヤや色を保ち、光暴露による物性や強度の低下を防いでくれます。



化成品研究室について

化成品研究室では着色剤・機能性材料専門商社のスペシャリストとして、お客さまの色彩上の課題解決のために、さまざまなサービスを行っています。原材料の特性、用途材料との適合性、配合後の特性や変化、色調バリエーションのご相談、色調サンプルの作成など、1世紀にわたる経験・実績をもとに適切な選択・調達・提供をいたします。

■主要取扱品目

無機顔料(酸化鉄、酸化クロム、酸化チタン、カーボンブラック、群青、黒鉛他)、防錆顔料、有機顔料(アゾ系、キナクリドン系、ペリレン系、フタロシアニン系顔料他)、金属粉、蛍光顔料、機能性顔料、二次加工着色剤(ドライカラー、水性ペーストカラー、油性ペーストカラー、マスターバッチ、潤性カラー、NCカラーチップ、水分散用顔料他)、添加剤(塗料用、インキ用、合成樹脂用)、合成皮革用ポリウレタン樹脂、染料、紫外線吸収剤、酸化防止剤、光安定剤、抗菌剤、消臭材、各種建材

■主要仕入先 (五十音順・敬称略)

浅田製粉(株)、旭化成(株)、SKWイーストアジア(株)、オリエント化学工業(株)、化成工業(株)、彩華化学工業(株)、三商(株)、JFE建材(株)、JFE商事住宅資材(株)、(株)シモダ、ジャパンコーティングレジジン(株)、シンロイヒ(株)、住友理工(株)、住理工商事(株)、大日精化工業(株)、太平洋マテリアル(株)、(株)竹屋化学研究所、秩父コンクリート工業(株)、中央合成化学(株)、中国精油(株)、DIC(株)、東邦顔料工業(株)、トーヨーカラー(株)、トーヨーケム(株)、トーヨーポリマー(株)、日本光研工業(株)、日本黒鉛工業(株)、(株)日本触媒、日本ピグメント(株)、Vibrantz Japan KK、BASFジャパン(株)、東日本塗料(株)、(株)瓢屋、福田金属箔粉工業(株)、藤倉化成(株)、御国色素(株)、LANXESS Deutschland GmbH、LANXESS (Ningbo) Pigments Co., Ltd.、ランクセス(株)、レジノカラー工業(株)

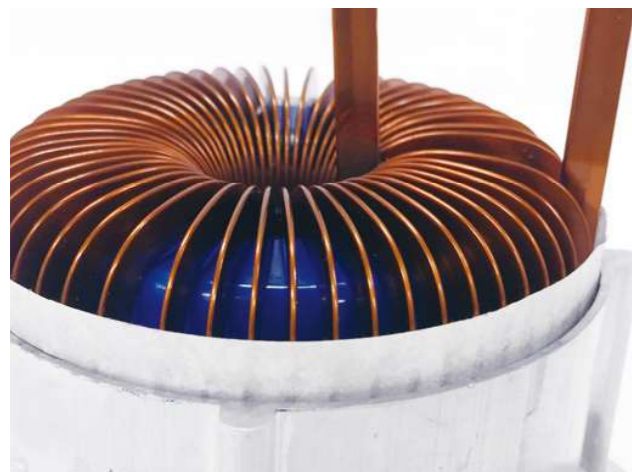
■主要得意先 (五十音順・敬称略)

artience(株)、(株)アイ工務店、(株)アグリマート、エスビック(株)、MGCエレクトロテクノ(株)、岡三リビック(株)、オカモト(株)、キヤノン(株)、共和コンクリート工業(株)、共和レザー(株)、久保田セメント工業(株)、ケイミュー(株)、コスモエネルギーソリューションズ(株)、三協商事(株)、サンヨウ(株)、JFE商事テールワン(株)、スリーエムジャパンプロダクツ(株)、積水化学工業(株)、積水ハウス(株)、大日精化工業(株)、大日本塗料(株)、太平洋セメント販売(株)、太平洋マテリアル(株)、太陽エコブロックス(株)、高橋カーテンウォール工業(株)、竹中産業(株)、タマホーム(株)、秩父コンクリート工業(株)、帝人コードレ(株)、DIC(株)、デンカ(株)、東京インキ(株)、(株)トウペ、東邦顔料工業(株)、東洋クロス(株)、トーヨーポリマー(株)、トヨタホーム(株)、日弘ビックス(株)、ニチレキ(株)、日本化成(株)、日本ピグメント(株)、(株)ノザワ、ハニックス(株)、(株)瓢屋、ヒロセ補強土(株)、藤倉化成(株)、御国色素(株)、(株)ユニソソ、リケンテクノス(株)、理想科学工業(株)、レジノカラー工業(株)

電子部品営業部

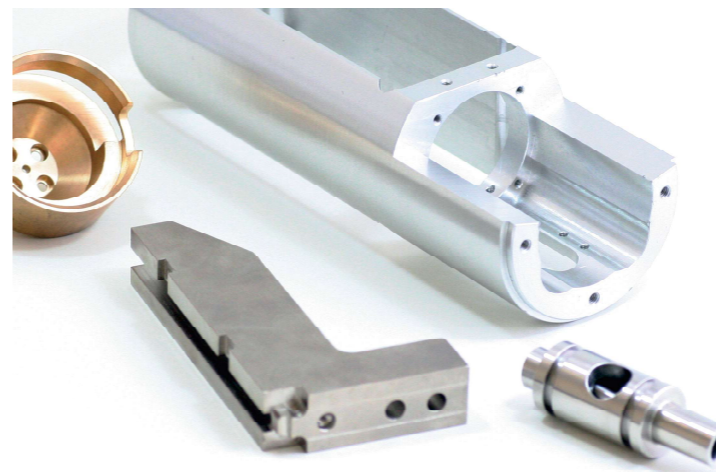
電子部品営業部は、国内外の著名な製造メーカーと販売協力関係を持ち、国内のみならず海外へもエレクトロニクス商品を供給しています。各種トランス・インダクタ、スイッチング電源用のフェライトコア、高周波用リアクトルとして使用される鉄心の加工や完成品としてのOEM供給、自社開発製品のほかに金属切削加工・ダイカスト部品など、市場のニーズを先取りした優れた部品・材料を取り扱っています。

取扱製品・サービス



鉄心・コイル・トランス・熱対策材料

JFEスチールの「スーパーコア®」をはじめ、フェライトコア・ダストコア・アモルファスコアなどの各種磁性材料や、コイルやインダクタ・リアクトルなどの電子部品を提供しています。自社設計の尾関オリジナル製品もご紹介します。



金属切削加工・ダイカスト部品

金属切削加工・ダイカスト部品の海外調達なら尾関におまかせください。おもに中国各地に製造拠点を持つ海外現地企業の中から、お客さまの要望に応じた最適な加工先をマッチング。日本国内への納入から現地調達までサポートいたします。



電子部品技術室について

2008年に設立した電子部品技術室は、専門商社の付加価値としてサプライヤーだけに設計品質の妥当性をまかせるのではなく、製品を自ら検証し、適切な商品をお客さまに提供することを目的としています。また、新規商材やサプライヤーの開拓についても、子会社である尾関(香港)有限公司の技術スタッフと共同で精力的に行い、商品群の充実に努めています。



尾関(香港)有限公司について

海外現地調達の需要増に伴い、2001年に香港に子会社「尾関(香港)有限公司」を設立しました。技術スタッフを擁し、中国でのサプライヤー開拓や現地企業との協業などを行っています。現在の電子部品営業部の売上のうち、約4割が中国を主とした海外製品が占めており、中国国内だけでも15社を超えるサプライヤーと協力関係にあります。

■主要取扱品目

各種磁性材料 (JFE「スーパーコア®」、ダストコア、アモルファスコア、ナノ結晶合金コア、フェライトコア、パーマロイコア)、コイル・インダクタ・リアクトル (エッジワイズトロイダルコイル、大電流リアクトル、共通モードチョークコイル、オンボードコイル)、各種トランス (大型トランス、スイッチングトランス、電源トランス、カレントトランス、プレーナートランス)、放熱対策材料、機能性成形材料、電流センサ、DC/DCコンバータ、金属切削加工・ダイカスト部品

■主要仕入先 (五十音順・敬称略)

(株)アイペック、Amogreentech Co., Ltd.、Endela Electronics (Shenzhen) Co., Ltd.、加美電子工業(株)、神戸電機産業(株)、北川電機(株)、呉竹電鋼(株)、Guangzhou Magnetic Nanocrystal Co., Ltd.、(株)群馬電機工業、(株)光輪技研、山東東泰電子科技有限公司、JFE商事(株)、JFEスチール(株)、JFEフェライト(株)、シンセイ電機(株)、上海日建精密機械有限公司、SmartCoil Electrical Industrial Co., Ltd.、大裕鋼業(株)、China Amorphous Technology Co., Ltd.、デクセリアルズ(株)、東邦亜鉛(株)、Nicore Electrical Manufactory Co., Ltd.、(株)日辰電機製作所、日本磁性材工業(株)、Premo Corporation S.L.、Motien Technology Co., Ltd.、耀順精密(香港)有限公司、吉本鉄芯工業(株)

■主要得意先 (五十音順・敬称略)

アイコム(株)、愛知電機(株)、(株)アイペック、ASTI(株)、(株)アルバック、(株)エヌエフ回路設計ブロック、(株)エネゲート、(株)荏原製作所、大崎電気工業(株)、岡谷電機産業(株)、オムロン(株)、オムロン阿蘇(株)、(株)オリジン、加美電子工業(株)、菊水電子工業(株)、キヤノン(株)、(株)京三製作所、(株)協電カットコア製作所、コーセル(株)、神戸電機産業(株)、(株)左尾電機、(株)三社電機製作所、サン電子工業(株)、山洋電気(株)、(株)GSユアサ、四変テック(株)、(株)島津製作所、シンフォニアテクノロジー(株)、新電元工業(株)、鈴木電機工業(株)、(株)諏訪三社電機、セイコーエプソン(株)、(株)正興電機製作所、関口電気(株)、ダイヘン産業機器(株)、(株)タムラ製作所、(株)中央製作所、(株)電機精工社、東京精電(株)、東洋システム(株)、新潟電子工業(株)、(株)ニコン、ニシム電子工業(株)、日新電機(株)、ニチコン(株)、パナソニックグループ、富士電機(株)、富士フイルムヘルスケア(株)、古河電気工業(株)、Mywayプラス(株)、ミツミ電機(株)、ミネベアミツミ(株)、(株)村田製作所、(株)安川電機、(株)やまびこ、(株)ユタカ電機製作所、(株)ワコム

環境方針

環境理念

株式会社尾関は、化学品・電子部品を扱う専門商社として、また社会の一員として「環境との調和」「環境への配慮」をモットーに製品の企画・販売を通じて、社会・経済の発展に寄与するとともに、健全なる地球環境の保全に貢献すべく最善を尽くす。

環境方針

1. 環境に配慮した事業推進

事業活動の推進にあたってはPDCAの展開を図り、環境で常に業務の改善・向上に努め、技術的・経済的に可能な範囲で環境保護活動を行う。

2. 資源、エネルギーの効率的利用

各事業所では、資源・エネルギーの効率的な利用を推進し、限りある天然資源の保全及び汚染の予防に努める。

3. 環境関連法規等の順守

事業活動の推進にあたっては、環境関連の法規、規制、条例及びその他の要求事項を順守する。

4. 環境マネジメントシステムの構築と継続的改善

環境マネジメントシステムを事業方針と直結させて構築、運用して見直しを行い、継続的な改善に努める。

5. 環境方針の周知と公表

この環境方針は、すべての役員及び従業員に周知徹底するとともに、社外に対しても公表する。

2022年8月5日
株式会社 尾関
代表取締役社長 尾関 竜太郎



〈登録範囲〉
(株)尾関
・ 本社
・ 大阪支店
・ 化成品研究室

BCP

事業継続力強化計画

株式会社尾関は関東経済産業局より「事業継続力強化計画」の認定を受けました。
「事業継続力強化計画」とは中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。

事業継続力強化に取り組む目的

下記3点を目的に、事業継続力強化に取り組む。

1. 自然災害発生時において、人命を最優先として、社員と社員の家族の安全と生活を守る。
2. 地域社会の安全に貢献する。
3. 顧客への影響を極力少なくする。



国内事業所・海外拠点案内

■本社

〒104-0041
東京都中央区新富1丁目14番1号
いちご八丁堀ビル7F
TEL:03-3297-3241 (代表)
FAX:03-3297-3220

[化成品営業部]

TEL:03-3297-3211
FAX:03-3297-3230

[電子部品営業部]

TEL:03-3297-3231
FAX:03-3297-3228



■大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町1丁目7番15号
明治安田生命堺筋本町ビル8F
TEL:06-6266-7890
FAX:06-6266-8823



■尾関(香港)有限公司

香港九龍尖沙咀漆咸道南87-105號
百利商業中心10樓 02-03室
(Unit 02-03, 10/F., Beverley Commercial Centre,
87-105 Chatham Road South, Tsim Sha Tsui,
Kowloon, Hong Kong, China)
TEL:852-2898-2203
FAX:852-2898-2304

